



壇上でスピーチをするカルロス氏

World
YMCA
NEWS2019
3

世界YMCA同盟新総主事新年メッセージ

カルロス・サンヴィー氏

新年おめでとうございます。この新しい年の初めは世界YMCA同盟の総主事としての歩みを始める私にとっては大きな意味を持ちます。

歴史的な建物の中にある世界YMCA同盟のオフィスには1999年から通い続けていますが、今朝は今まで感じたことのない感覚をおぼえました。総主事室に立つと、歴代の世界YMCA同盟総主事のニック・ナイチンゲール氏、バート・シャハ氏、ヨハン・エルトヴィック氏たちとの会話が洪水のように思い出され、彼らが築き上げてきたものに揺るがない絆を感じました。そして大きな責任を実感しました。

私の人生においての次なる挑戦として、神様が私を導かれたことを確信し、若者の人生や世界の変化の風を受けながら航行するYMCAという頑丈な船のために祈りました。

これまで皆さんと共に以下の決意をしてきました。

- ・ 世界の情勢が急変する中であって、すべての若者をエンパワーすることに取り組む
- ・ 互いにより良い関係と協働を築く
- ・ 立ち上がり、強く正しいリーダーとなる
- ・ 社会や未来に向けた希望をさらに良いものとして確立する
- ・ 広い視野と多様な思想を養い、個人と社会を繋ぐ
- ・ 若者の変革のための触媒となり、人々の尊厳が守られる社会を築く

YMCAは今年で175周年を迎えます。これまでの実績とこれからの取り組みを社会に示す機会です。何億人もの人々が私たちの粘り強い努力によって変化してきました。彼らの姿が、プログラムの価値が時代を越えたものであり、大きなインパクトを与えてきたことを証明しています。

175年目からのYMCAの新しい歩みとともに、YMCAが若者の自立した生活や、他者への貢献、持っている力を発揮できる「場」でなければならないという未来の声が聞こえます。この声に全力で応えていきましょう。

世界YMCA大会で承認された戦略から、使命を果たすための強さや影響力を高める具体的な取り組みを導き出しました。

1. 協力：若者が力や権力によって抑圧されることに抵抗し、彼らの声によって社会を変えられるように共に働く。
2. 適応性：将来の国際社会や経済活動で作られる変化や技術革新に順応し活用する。
3. 財政安定：YMCAのプログラムやサービスを効率的で生産性があるように、経済的な力を強める。

この世界大のYMCAの働きに参加する機会はたくさんあります。伝統を受け継ぎつつ、生涯かわりを持ち続ける価値のある21世紀のYMCAを共に創造していきましょう。

神様が共におられますように。祝福がありますように。皆さんと皆さんの愛する人が、幸せで充実した一年をすごされますように。

Carlos Sanvee 氏

初めてのアフリカ出身の総主事です。トーゴYMCAでボランティア活動の後、スタッフとしてリーダーシップ開発担当や副総主事を12年間務め、前職はアフリカYMCA同盟の総主事と、世界YMCA同盟のスペシャルアドバイザーを兼務していました。

世界YMCA同盟ホームページより

<https://www.ymca.int/secretary-general-message-movement/>

リーダーシップトレーニングスクール ーギリシャ・テサロニキYMCA



募金活動をする参加者

「リーダーシップトレーニングスクール」は、14歳から17歳までを対象とした3年間のトレーニングプログラムです。ここでは若者たちが個人として、また、地域社会の一員として、成熟した大人になるためのサポートをすることを目的としており、参加者はYMCAやその他の団体の活動を通して、ボランティアへの責任を学びます。

3年間のトレーニングを終える直前に参加者が“Play Act MotiON”と呼ばれるイベントを企画し、実施します。イベントの目的は若者の自意識を芽生えさせること、そしてテサロニキ市民に都市、環境等のさまざまな課題に気づいてもらうことです。

参加者はリーダーとして、テサロニキ市民に若者のエネルギーや情熱を示すために、3年間のトレーニングで身に着けた知識とスキルを存分に発揮します。

ボランティアをすること、そして困っている人を助けることは、私たちが若者に期待することの一つです。今年のイベントの社会的な目的は、テサロニキにあるリハビリテーションセンターの障がいを持つ子どもたちへの協力や経済的サポートです。

この目的のために、市の中心地で、チャリティーコンサートやチームビルディングゲームなど様々なイベントを開催します。およそ4千人から5千人の参加者が予想されます。

テサロニキYMCAは97年間にわたりボランティア活動を行ってきました。そして常に社会問題に向き合い、片親や非労働者、高齢者、特に近年は難民などさまざまな社会的弱者に対して支援やプログラムを実施しています。また、年間を通して、環境保全や市の記念物を清潔に保つための活動に若者を巻き込み、若者の市民参画の意識を持つ活動の一つとなっています。

世界YMCA同盟ホームページより

<http://action.ymca.int/youth-empowerment/leadership-training-school-in-thessaloniki-ymca/>

新しいYMCAの活動

ーモンゴルYMCA



モンゴルの歴史を学ぶ子どもたち

モンゴルYMCAでは、一年を通して子どもを対象としたプログラムを実施しています。ウランバートルではこのようなプログラムの参加費が高いため、通うことのできない子どもたちが多くいます。そのため、YMCAのキッズアートクラスとチェスクラブは参加しやすい金額設定をしました。

現在、アートクラスには4～9歳の15人の子どもたちが参加しています。子どもたちの年齢に合った学びや、創造力を豊かにする内容となるよう心がけています。チェスクラブは個人の時間とグループの時間に分けて、練習をする時間と実際にチェスを行う時間を作っています。現在は10人がクラスに参加しています。

その他には、子どもたちや10代の若者を対象としてギターやピアノ、馬頭琴のレッスンを行っています。また、月に2回ほどモンゴルの文化や歴史を紹介するクラスを開いています。子どもたちはモンゴル文化や歴史について、寸劇や歌などを交えながら学びます。最後にその日のレッスンで学んだことを絵に描いたり、工作をしたりして身につけた知識を形にします。

旧正月の後には子ども向けの英語クラスを始め予定です。講師はフランスから来ているモンゴルYMCAのボランティアです。



伝統楽器の馬頭琴レッスン

世界YMCA同盟Camp Climate 活動報告

— 京都大学YMCA 橋本寛子



Camp ClimateがポーランドのKatowiceで12月9日より6日間にわたって行われました。今回、日本から初めて京都大学YMCAの橋本寛子さんが参加しました。

Camp climateは、世界YMCAのプログラムの一つとして数年前より開催されています。ここでは、*COP24に合わせて南米やヨーロッパからYMCAのユースが集まり、環境問題について話し合います。今回は18人が参加し、高校生からYMCA職員まで幅広い年齢層でした。

ユースの中にはDelegateと呼ばれるCOPの協議を傍聴し、所属団体の意見を発表できる代表者がおり、彼らからCOPの進捗状況を共有してもらうことができます。

*COP: 国連気候変動枠組条約締約国会議とよばれる国際会議。COP24は、2015年のパリ協定で定められた気温上昇を産業革命以前より2°C未満（可能ならば1.5°C）に抑えるという目標を達成するため、詳細なルールを決めるというテーマで行われました。

Camp Climateの目的は大きく分けて以下の3つです。

1. YMCAを代表してCOP24に参加するdelegateを支援する
2. ユースがdelegateとともにCOPの会場で何が、どのように行われているかを学ぶ
3. YMCAのユースが環境問題について学び、交流し、それぞれの国で環境への取り組みを活性化

プログラム参加者はグリーンピースという環境団体のサイドイベントに参加したり、環境問題をテーマとしたパネルディスカッションを行って学びを深めました。



Camp Climateを振り返って

京都大学YMCA 橋本寛子

日本からCamp Climateへの参加は今回が初めてでした。何もわからないままスタートし、不安もありましたが、世界のユースの意欲、自分で発信するんだ、自分たちの声で世界を動かすんだというパワーに圧倒され、とても刺激を受けました。

プログラムを通して印象的だったのは同年代のユースが環境問題について自分のこととして考え、実際に行動を起こしていることです。YMCAのプログラムに参加するだけでなくフェイスブックで発信し周りの人に意識を促したり募金を行うなど、小さなことでも、それが広がっていけば大きな影響が生まれると思いました。

英語については悔しい思いをしました。どの国のユースもトピックに精通しているためあってネイティブ以上の速さで自分の意見を述べるため、議論の内容に追いつくのが大変でした。プログラムの事前情報があまりなかったので、今回体験したことをできるだけ書き残して共有し、来年以降日本からもっと多くのユースが安心して参加できるようにしたいと思います。

帰国して、自分の経験を周りに伝えられなければこのムーブメントを止めることになってしまうので、これからも積極的に環境問題に関わっていきたいと思います。



World
YMCA
NEWS
2019.3

発行
2019年3月1日
日本YMCA同盟
03-5367-6640
info@ymcajapan.org